



ぼらんていあ通信

6月号
通巻 No.523

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2025年6月24日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <https://sagamiva.info>

相模原ボランティア協会 2025年度通常総会開催 すべての議案が賛成承認される

2025年度理事の紹介！

会長	恒藤 玲子
副会長	西本 敬
副会長	茨谷 久美
理事	荒谷 進
理事	白倉 健一
理事	鈴木 秀美
理事	梶原 賢一郎
無任所理事	



次世代にバトンタッチできる社会を！

会長 恒藤 玲子



このたび、ボランティア協会の会長を務めることになりました恒藤 玲子です。

会員の皆様には、日頃より当協会へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私がボランティア協会に入会したのは、1996年のことです。相模原に越してきた際、知人がひとりもいなく、どうしようかと思案していたところ、「広報さがみはら」を読んでいた家族の一言がきっかけとなりまし

た。「ボランティアを始めてみれば？」というその言葉に背中を押され、自主性のなさに苦笑しつつも、ボランティア活動を始めることにしました。

それから今日までボランティア活動を続けてこられたのは、協会に優しく思いやりのある先輩方が多く、私自身が人生の大切な学びを得られる場であったからだと感じています。

2024年11月時点で、全国のボランティアセンターが把握しているボランティア数は、ボランティア団体に所属する方々と個人で活動されている方々を合わせて652万8163人とされています。この数字は総人口の約5%に相当します。約5%という割合が多いのか少ないのかの判断は難しいところですが、当協会においては福祉有償運送の運転ボランティア不足は深刻です。また、財源問題など多くの課題も抱えています。

そこで、会員の皆様をはじめ、関係諸団体の皆様からご意見をいただきながら、理事一同で課題を一つでも解決する方法を模索していきたいと思っています。

タイトルに書かせていただいた「次世代にバトンタッチできる社会を！」という言葉は私がボランティア活動をする際のモチベーシ

ョンとなっています。この理念を胸に、皆様と共に楽しく活動していけるよう努力してまいります。

ご支援よろしくお願いいたします。



総会報告

5月も最終日、31日（土）あじさい会館6階のボランティア活動室において2025年度通常総会が開催されました。あいにくの雨模様で出席者の参加が心配されましたが、定刻通り午後2時より西本敬理事の総会司会、恒藤玲子副会長の開会の言葉で始まりました。

まず、資格審査について、4月23日現在の正会員数103名、本日の出席者19名、議決権行使者18名、委任状27名、計64名で、正会員2分の1である52名以上となり、総会が成立する旨、事務局杉崎スズさんより報告されました。

この日で任期満了となる加藤修会長より、総会出席のお礼、日頃の活動への感謝の言葉とともに、ボラ協の活動の先行きを皆さんで考えていく場にしたとのことご挨拶がありました。

議長（恒藤 玲子）の選任は司会者（西本の声）により、議長に渡邊亮さん、書記に小川紀江さん、議事録署名人に松原俊理事、小野明雄事務局委員長が推薦、承認されました。

審議は議案書に沿って2024年度の事業報告（第一号議案）、活動決算報告（第二号議



案)がまとめて加藤会長より報告されました。逝去された会員のご遺志による協会車両の入れ替え、新事業として「子どもボウリング大会」の開催などもあり、様々な事業が新型コロナウイルス禍前の制約のなかった以前のような活況がうかがわれる内容でした。続いて杉本栄治監事より、高橋功監事と2名で監査を行った結果、内容は適正であったとの監査報告がされました。

その後、これまでの議案についての質疑がありました。高橋健二さんからは遺贈を除けば赤字決算であることへの懸念が問われましたが、会長から今後も収入増を目指した活動を行っていく旨の回答。また、倉島勝治さんからは災害ボランティアの活動にもボランティア協会からの参加協力があったことの紹介と感謝の言葉がありました。そして、第一号、第二号議案は賛成多数で承認されました。

次に第二号議案(役員の選任)について、新任3名を含む理事6名が決定したことが役員選出管理委員会の下里作衛委員長から報告がありました。

同時に無任所理事として梶原健一郎氏、監事として高橋功氏、杉本栄治氏が推薦され、

賛成多数で承認の運びとなり、新理事の方々から一言かすつのご挨拶をいただき、新旧の役員の交代となりました。

引き続き2025年度の事業計画案(第四号議案)これに伴う活動予算案(第五号議案)が渋谷久美理事から提案されました。時代のニーズに 대응する活動の発掘・展開を目指し、「ボランティア養成講座」を筆頭に各事業へ力を入れていくことが説明されました。質疑には拳手なく、賛成多数で承認されました。

その後、その他のことについての質疑の場が設けられました。高橋健二さんより「南区の活動の減少傾向を憂える発言があり、加藤会長より「南区の拠点は無くなったが今後も活動の活性化に向けて努力する」との回答がされました。そして、すべての審議が無事終了しました。

議長他解任となり、最後は渋谷久美理事の閉会の言葉で総会は1時間ほどで滞りなく終わり、ボランティア協会の新年度の幕開けとなりました。

(杉崎)



クイズに挑戦!

goo辞書に聞いてみました!さて、答えは?

- ①「貼付」は何と読むでしょうか?
- ②「独壇場(どくだんじょう)」と「独壇場(どくせんじょう)」の違いは?

クイズの答え!

- ①答えは「ちょうふ」
しかし、慣用読みで「てんぷ」とも読みます。はりつけることで「封筒に切手を貼付する」など。
- ②どちらも「その人だけが思うままに振る舞うことができる場所・場面。ひとり舞台」のこと。
「独壇場(どくだんじょう)」は「壇」を「壇」と書き誤って生じた語で、「ひとり舞台」の意から「独壇場(どくだんじょう)」というようになった。

7月の記念日は?

小倉義男

7月12日は、人間ドックの日です。
公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会が制定。より多くの人に「人間ドック」の受診を促すことで病気の早期発見につなげ、国民の健康増進に寄与することが目的。はじめは「短期入院精密身体検査」と呼ばれていたが、この検査について報道した新聞記事が「人間ドック」(ドックは船を修理するための設備であるdockから)と伝えたことからこの呼び方が定着した。日付は1954年7月12日に国立東京第一病院(現、国立国際医療研究センター病院)で初めての「人間ドック」が行われたことから。

【出典(一社)日本記念日協会より参照】

小倉画



ボランティア活動グループ訪問記



素敵な歌声とみことな演奏で
観衆を魅了しているバンド
「チョップスティックス」



秋のほかほかふれあいフェスタや、冬の障害者週間キャンペーンに、いつも参加いただいているバンド「チョップスティックス」の代表をされている牧紫さんに活動の様子をメールでインタビューさせていただきました。

◆設立年や設立されたきっかけを教えてください。

◆2012年の春ごろ結成しました。伊勢原養護学校で同僚で結成したバンドです。当時学校で音楽祭を年3回開催しており、その音楽祭で演奏していました。当時のメンバーは年によって入れ替わることもありましたが、音楽が大好き仲間たちと集まって演奏を楽しんでいます。

◆バンドの名前の由来などがあれば教えてください。

◆チョップスティックスは「お箸」という意味で、「箸が転がっても面白い」という言葉から楽しく音楽を



2024年障害者週間キャンペーンにて



したいという気持ちで命名しました。

◆メンバーや担当楽器などの構成を教えてください。

◆ボーカル、ギター、ベース、ドラム、サックス、キーボードです。

◆牧さんが参加なさったきっかけは？

◆私からバンド結成の声を行いました。学生時代もバンドをやっていたので、教員になってからも定期的に音楽に触れられる機会になり楽しんでいます。

◆練習はどのようになっていますか？

◆それぞれ別の学校に勤務しているので、メールやLINEなどで選曲し、ライブ前に数回音楽スタジオで集まり練習しています。

◆ほかほかふれあいフェスタに参加なさった感想を教えてください。

◆スタッフの皆さま、お客さま、とても暖かい雰囲気です。野外で行った経験があまりないので、野外ならではの開放的な雰囲気とても素敵です。

◆ほかほかふれ以外に参加なさっているイベントなどがあれば教えてください。

◆コロナ禍でイベントが縮小したり、なくなったりしたこともあり、現在はほかほかふれあいフェスタの他には出演していません。ほかほかふれでは、毎年良い機会をいただきありがとうございます。

◆エピソードなどがあればぜひ！

◆当日の雰囲気重視しているため、突然曲を変更したり、ボーカルのモノマネやアドリブが入ったりすることがあります。一緒に盛り上がりいただくと嬉しいです。



◆その他、読者に伝えたいことなどがあればぜひ詳しくお願いします。

◆バンドメンバーは日頃は教員として子どもたちと関わっていますが、音楽で地域みなさんと繋がることをとても楽しみにしています。これからいろいろな場所で演奏できたら嬉しいので、もしどこかで演奏の機会がありましたらお声かけいただけると嬉しいです。

今年度、小田原の支援学校へ転勤された牧さんにインタビューをお願いしたところ、『バンドメンバーの昔話を振り返りながら、結成当時のことを思い出しました』と優しいお返事をいただきました。

実をいうと、当協会の映像企画実行員は、1月12日に開催された「新成人を祝つ会」のイベントコーナーでもお会いしています。演奏とともに、新成人も手拍子やダンスで音楽に乗って楽しんでいました。

今年のほかほかふれあいフェスタは10月11日に開催されます。その際は、ボーカルのモノマネやアドリブをみんなで楽しみながら一緒に盛り上がりましょう！ (恒藤)

ほかほかふれあいフェスタ2024



チョップスティックスさんの連絡先

小田原支援学校 牧紫 (まき ゆかり)

Eメール maki-oh9@pen-kanagawa.ed.jp

理事会報告

6月19日(木) 理事会(理事7名出席)

◆報告・審議事項

・福祉有償運送(ハンディキャブボランティア号の活動)は3年毎に登録の更新をすることになっていますが、当協会は来年2月の更新のために準備活動を開始することとしました。

・ハンディキャブ号の運転ボランティアが不足して運行依頼をお断りすることがあり、運転ボランティアの増員が喫緊の課題です。11月に運転ボランティア募集のための講座を開催することになりました。

・運転ボランティアに役立つ動画を制作しようという検討が始まりました。

・8月に計画している児童養護施設のごも達と楽しむボウリング大会の資金獲得のために、内外で寄付のお願いをするつもりになりました。

・毎月11日はイオングループの幸せの黄色いレシートキャンペーンの日です。ボラ協も参加しています。イオン橋本店でのキャンペーンに参加しませんか？

次回理事会 7月17日(木) 13時30分より



相模原ボランティア協会 7月の予定

日	時間	内容
8(火)	14:00～	傾聴委員会
11(金)	13:30～	高齢者住まい探し相談会(緑区)
	16:00～	幸せの黄色いレシートキャンペーン(イオン橋本店)
14(月)	10:00～	広報委員会・ぼら通部会
16(水)	13:30～	子どもボウリング大会実行委員会
17(木)	13:30～	定例理事会
18(金)	13:30～	講座検討委員会
19(土)	13:00～	ハンディキャブ・事務局合同委員会
22(火)	10:30～	ぼら通7月号印刷
	13:30～	ぼら通7月号発行



今年も子どもボウリング大会を開催します！

8月8日(金) 午前中

相模原パークレーンズ(相模原駅南口下車徒歩2分)

昨年に続き、今年度も子供たちと一緒にボウリングを楽しむ計画をしています。今年度は、南区新戸にある「相模原南児童ホーム」の45名のお子さんたちをお招きし半日プレーする予定です。大会のネーミングは、子供たちが考え中ですが、

一緒にプレーしてくださる会員を募集中です！

参加費：1000円

(2ゲーム、シューズ&駐車場無料、1ドリンク付き)

ボウリングが大好きな方、子どもたちと一緒に楽しんでくださる方はボラ協事務局にご連絡ください。ぜひよろしくお願いいたします。

Eメール：sagamiva@feel.ocn.ne.jp TEL/FAX：042-759-7982

ボウリング実行委員会(ボラ協・れんきょう)より

あわせて
寄附のお願い

子どもボウリング大会を開催するにあたり、参加賞として子供たちが大好きなお菓子を用意したいと考えています。お菓子代の寄付を募るために事務局に募金箱(黄色いボウリングのピン)を設置しました。ご協力をよろしくお願いいたします。

また、事務局には行かないが寄付をとお考えの方は、事務局までご連絡をよろしくお願いいたします。





か？」

「ピースストラップやお面作りなどです」

「皆さん、楽しそうですね、誰でも参加できるんですか？」

か？」

「人がいっぱいいますね、ここは何をやっているんですか？」

問攻め。

まずは一階正面玄関を入ったロビーの人だかりにワクワク感を高められ、さっそくスタッフらしき人に質問攻め。

以下はお祭り好きの筆者が『歩く好奇心』と化して会館内を歩き回った様子と感想です。

当日は雨も予想されていたのですが、まずまずのお天気。ふだん、あじさい会館を利用しているグループや個人が中心となって日ごろの活動の成果を披露するワークショップやステージパフォーマンスが繰り広げられました。

当日は雨も予想されていたのですが、まずまずのお天気。ふだん、あじさい会館を利用しているグループや個人が中心となって日ごろの活動の成果を披露するワークショップやステージパフォーマンスが繰り広げられました。

これまで市民の活動を陰に陽に支えてくれ、相模原市の歩みを静かに見守ってくれていたあじさい会館ですが、来年の開館45周年を迎えるにあたってのプレイベントとして6月8日の日曜日「あじさいフェス」が開催されました。

ボラ協PRタイム

ボランティア協会も
あじさいフェスに
参加しました！



「はい、参加費無料で楽しんでください」
でも人がいっぱい。並んで待っている間に他の処も見学したので、後ろ髪を引かれながらホールの方へ移動しました。

ホールではちょうど民謡サークルがステージに並んだところで一曲目はお馴染みの「ソーラン節」。会場からは誰かれともなく手拍子が始まり、一緒に歌い出す人もいて、和やかで活気のあるステージでした。生来、身体を動かすことが好きな筆者は、なんだか身体がムズムズしてきて、一緒に踊れるという6階の手話ダンス会場に行きました。会場の第二展示室では振り付けの真っ最中。うる覚えの手話を思い出しながら一緒に踊ってきましたが、傍目にはもがいているようにしか見えなかったかも…。

3階では視覚障がい者の誘導グループ「さこの会」によるガイド体験をさせていただきました。右と左を間違えたり、狭い入口を一緒に出ようとしたりしましたが、優しくご指導いただいたおかげで何とかクリアできたつもりになりました。

さて肝心の我がボランティア協会は、理事さんと映像企画実行委員会を中心となって作成したDVDを上映してボラ協の理念やこれまでの活動などを解りやすく説明してくれました。事前に概要を読んだときには堅い印象でしたが、ナレーションの若々しい声に聞き惚れて、つい最後まで観てしまいました。何より嬉しかったのは、関係者以外の人が立ち寄ってくれ、興味深そうに視聴してくださったことでした。



イベントコーナー

6階の第2展示室では、当協会の歴史や活動などを写真やポスターなどで紹介していました。

感心してくださる方や、ちょっと興味を持ってくださる方、また、じつくり時間をかけて読んでくださる方などには、協会員が優しく対応しPRをしていました。

何しろ今回が第一回目のフェスティバルで、どうなることかと思っていました。予想外に人が集まり、楽しんでいた様子に、次回以降の盛況を予感させる、幸先の良い一日になったと思いました。関係者各位の努力に感謝と敬意を表します。ありがとうございました。

(小川み)

「幸せの黄色いシートキャンペーン」に参加してきました！

6月11日、イオン橋本店の1階食品売り場にて「幸せの黄色いシートキャンペーン」に杉本榮治さん、下里作衛さん、杉崎久子さんの会員3名で参加、シートの回収を呼びかけました。シート額の1%がボラ協に寄付される貴重な活動。一時間、声を枯らしてボラ協のアピールとシート投函のお願いをしました。夕方4時からの買い物で、多くのシートと共に「頑張って」「ボラ協の会員です」と励ましの声も多かったです。

毎月11日は、ぜひ
買い物にお立ち寄り
ください。

また一緒にキャンペーンに参加して
いただける会員も大
募集です！(杉崎)



左から杉崎さん、下里さん、杉本さん

ボランティアさん募集！

① 施設でドライヤーかけのボランティア募集！

デイサービスの利用者さんが入浴をした後、お話をしながらドライヤーをかけてくださる方を募集しています。お話し好きの方、是非ご連絡お待ちしております。興味のある方は、中央ボランティアセンターにお問い合わせください！

日 時： 月～金曜日の午後

場 所： 古淵デイサービスセンター（中央区東洲野辺4丁目）



② 子どもの見守り・学習支援ボランティア募集！

子ども達の集まる居場所で、子ども達と一緒に遊んだり見守ったり、勉強を見てくださる方を募集しています。活動は、定期的でなく、ご自身の活動できる時だけでも大歓迎です！興味のある方は、中央ボランティアセンターにお問い合わせください！

日 時： ①見守り 月・木曜日 14：30～17：30

②学習支援 水曜日 15：30～17：30

場 所： みんなのいばしょポプケ（中央区相生3丁目）



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042（759）7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042（786）6181

FAX 042（786）6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



山口尚美画

《今日のイラスト
…明日天気にしておくれ》

訃報

当協会の会員で、長年ぼらんていあ通信の発送作業や、福祉バザーなどでご活躍いただいた吉田チエ子さんが昨年末ご逝去されました。

ご息が事務局にお越しになり、「母は協会での活動をととても楽しんでいました」とご挨拶をいただきました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

我が家の梅仕事 ほぼ完了
数年ぶりに庭の2本の梅が豊作。10年前は夫がハシコをかけて取ってくれたが、2人とも高齢のため、落ち梅を拾うのみ。
6月に入って半月、毎日ザルに一杯拾ってシャム、シロップ、梅干しに漬けています。
梅仕事 我が家の宝 青い空
かなりくたびれました。(三)

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<5月の寄付者>

3名の方からご寄付をいただきました。

<5月の寄付金>

総額 13,000円でした。

